

平成28年度

事業報告書

社会福祉法人 亀の子



## 目 次

1. 法人の目的	1
2. 亀の子の理念	1
3. 法人の基本方針	1
4. 事業の概略	2
5. 各事業部門	3
(1) 本部	
I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営	3
II. 経理部門	3
III. 地域福祉との連携	3
IV. 福祉避難拠点	4
V. 職員(人材)の育成	4
VI. 各種規程の新規作成・改定	8
VII. 法人運営会議	8
VIII. 情報公開	10
(2) 障がい者支援部門	
I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】	11
II. 日常生活支援【のほほん】	14
III. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】	17
IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】	20
V. 福祉的就労支援【遊亀館】	23
VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】	25
VII. 住まいの支援【タートルホーム】	28
【コーポ亀の子Ⅱ】	29
【コーポ亀の子Ⅲ】	30
(3) 児童支援部門	
I. 保育支援【たから保育園】	31
II. 障がい児通所支援	
【かめっ子クラブ】	34
【かめっ子クラブⅡ】	36
(4) メンバーの家族との連携	37
(5) 苦情解決	37
(6) 職員	38
(7) 非常災害対策	38
6. 社会貢献活動	39

## 1. 法人の目的

当法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者・児が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又は自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

## 2. 亀の子の理念

- ① 一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場であること。
- ② 自己選択・自己決定・自己責任・自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場であること。
- ③ 「障がい者を世の光とする」メッセンジャーである。生きるメッセージを与えて行く場である。
- ④ 亀の子は、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場であること。
- ⑤ 子どもの人権を尊重しながら、働く父母や地域の多様化する要望に応え、愛される保育園を目指す。

## 3. 法人の基本方針

### (1) 法人の基本方針

- ① 大田圏域の障がい者で、保健福祉の支援を必要としている人に対し、利用者の人間美をひきだし、信頼関係を深め、一人ひとりのライフステージに添った人生の物語が実現できるように支援体制を整えます。
- ② 障がい者福祉の総合的なコミュニティソーシャルワーク(CSW:地域福祉)の拠点となり、『さわやかに 明るく さりげなく 豊かな出会いの場』を目指します。
- ③ 障がい者福祉、高齢者福祉そして児童福祉が一体化することにより、先進的な多機能サービス(地域共生ケア)が提供でき、豊かな地域社会が形成されるよう貢献します。

### (2) 利用者援助の基本方針

- ①利用者一人ひとりの個性や能力に合わせて、「自分の人生の主人公は自分である」ことに気づき、自立生活を支える場とします。
- ②自己選択、自己決定、自己責任、自己実現を支えて、QOL(クオリティ・オブ・ライフ)となるように、豊かな出会いを実現する場とします。
- ③亀の子セルフは、バリアフリー・ノーマライゼーションの実現そして、ユニバーサルデザインの時代への地域福祉の貢献の場とします。
- ④「障害者を世の光とする」メッセンジャーとなります。
- ⑤人として、生きるメッセージを与えていく場となります。
- ⑥苦情に対しては、誠心誠意を込めて対応を行います。
- ⑦個人情報、部外者に漏れないよう大切に扱います。

以上のことに努めました。

## 4. 事業の概略

### (1) 社会福祉事業 第二種

事業所名	事業名	定員	住所
亀の子サポートセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般相談支援事業</li> <li>・特定相談支援事業</li> <li>・大田市委託相談支援事業</li> <li>・障がい児相談支援事業</li> </ul>		大田市長久町長久口267番地6
のほほん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センター</li> <li>・島根県高次脳機能障がい者支援事業</li> </ul>		大田市長久町長久口267番地6
亀の子工房	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援 B 型</li> </ul>	20名	大田市長久町長久口267番地6
遊亀館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労継続支援 A 型</li> </ul>	20名	大田市長久町長久口267番地6
ふぁみりーわーく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立訓練(生活訓練)</li> <li>・生活介護</li> </ul>	6名 14名	大田市長久町長久口335番地1
タートルホーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部サービス利用型共同生活援助</li> </ul>	10名	大田市長久町長久口267番地6
コーポ亀の子Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部サービス利用型共同生活援助</li> </ul>	5名	大田市長久町長久イ453番地10
コーポ亀の子Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部サービス利用型共同生活援助</li> </ul>	4名	大田市長久町長久口268番地18
たから保育園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認可保育所</li> </ul>	50名	大田市長久町長久口268番地2
かめっ子クラブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービス</li> <li>・児童発達支援</li> </ul>	10名	大田市長久町長久口268番地2
かめっ子クラブⅡ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービス</li> </ul>	10名	大田市長久町長久口267番地6
ジョブ亀の子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県障がい者就労移行推進事業</li> </ul>		大田市長久町長久口267番地6

### (2) 公益事業

事業所名	事業名	住所
ジョブ亀の子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者就業・生活支援センター事業(雇用安定等事業)</li> </ul>	大田市長久町長久口267番地6

## 5. 各事業部門

### (1) 本部

#### I. 総務・人事・労務・教育・財務・経営

社会福祉法人制度改正及び各種法改正に基づき、適正かつ総合的に取り組みました。

#### II. 経理部門

- ① 社会福祉法人新会計基準に則り、正確な会計処理に努めました。
- ② 予算に基づく適切な会計処理を行いました。
- ③ 工賃向上のために、原価及び経費の見直しをし、コスト削減に努めました。
- ④ 公認会計士 松井久氏に財務会計に係る情勢整備状況の点検及び適切な会計処理が行われているかどうか確認、指導を頂きました。(年3回実施)
- ⑤ 財務状況並びに運営状況を明らかにし、法人の今後の中長期計画を立案しました。

#### III. 地域福祉との連携

施設処遇の福祉ではなく、地域福祉を根ざした活動をおこないます。

当法人施設は、経済・福祉団体等、様々な関係機関とも連携をとり、地域住民も参画し(ボランティアの協力)、共に共有、共存できる施設を目指しました。

1) 具体的に次の事項を実践しました。

- ① 大田市障がい者自立支援協議会に参画しました。
- ② 社会福祉協議会と連携し諸施策の実行を行いました。
- ③ 地域行事への参加(天領踊り等)
- ④ 施設行事へ地域住民の協力・参加(亀の子祭)
- ⑤ ボランティアの受け入れと交流(うさぎの会等)
- ⑥ 市内中学校の体験実習の受け入れ
- ⑦ 機関紙「亀の子」の発行
- ⑧ 福祉体験学習の場の提供(大学生・専門学校生の実習の受け入れ)
- ⑨ 大田商工会議所及び九号線長久商工振興会の活動に参加

2) 施設見学者・視察研修者

日付	来 所 者	人数
7.5	出雲養護学校 生徒・教諭	6
7.8	島根県障がい福祉課長	1
9.23	なかよし&希望の会	25
9.27	出雲養護学校瀬摩分教室 生徒・教諭	6
10.21	NPO 法人ふれんど 利用者・職員	23
11.8~9	障がい者就業・生活支援センターエール	6
11.11	あゆみの里	22
11.30	出雲養護学校瀬摩分教室 生徒・教諭	6
2.15	あゆみの里	14
合 計		109

### 3) 体験等実習

日付	実習者	人数
6.6～17	出雲養護学校邇摩分教室 生徒	3
6.14	島根大学医学部看護学科 学生	2
7.25～8.5	出雲養護学校邇摩分教室 3年 生徒	1
9.28～30	大田市中学校職場体験	1
10.12～14	邇摩高等学校 (たから保育園へ)	2
10.12～14	出雲養護学校高等部 生徒	1
10.17～19	出雲養護学校高等部 生徒	1
10.17～28	出雲養護学校邇摩分教室 3年 生徒	2
10.25	島根県立大学 学生	2
11.9～11	江津清和養護学校高等部 生徒	1
11.16～17	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 学生	1
12.5～7	出雲養護学校高等部 生徒	1
1.24	出雲養護学校邇摩分教室1年 生徒	1
1.24～2.2	出雲養護学校高等部&邇摩分教室 生徒	2
合 計		21

## IV. 福祉避難拠点

福祉避難所として、非常食や備品の整備に務めました。また、利用者向けに防災研修会を実施しました。

## V. 職員(人材)の育成

### 1) 施設内研修

- ①メンバーの処遇について・専門的関わりについての学習会を行いました。
- ②法人職員としての接遇についての学習会を行いました。
- ③顧問公認会計士: 杉井久氏講師による会計研修を行いました。
- ④新任職員研修を入社後3ヶ月以内に5回行いました。

研修名	実施月日	対象	参加人数
虐待防止研修	4.20	放課後等デイサービス職員	5
新職員社内研修	5.13・17・30・6.8・16	新入社員	5
成年後見制度研修	6.8	障がい福祉職員	10

研修名	実施月日	対象	参加人数
SST 研修	7.16	障がい福祉職員	7
精神保健福祉に携わる職員としての援助技術を高めるための SST	9.24	全職員	23
倫理綱領	10.27	全職員	33
経理研修	12.26	経理担当職員	4
管理者研修	2.13	管理職	5
アンガーマネジメント研修	2.16	障がい福祉職員	4
会計実務基礎講座	3.25	全職員	33

## 2) 施設外研修

### ① 亀の子サポートセンター

11講座に 延べ19名の職員が受講しました。  
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
島根県相談支援専門員協会総会・相談スキルアップ研修会	5.21・1.19
平成 28 年度高次脳機能障害支援事業関係職員研修会	6.23～24
発達障がい講演会	9.19

### ② のほほん

5講座に 延べ6名の職員が受講しました。  
研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
日本社会福祉士会全国大会	7.2～3
平成 28 年度 社会福祉法人会計実務者決算講座	2.24

### ③ ふぁみりーわーく

13講座に 延べ24名の職員が受講しました。  
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
SSTファーストレベル研修会	5.14～15
県精神障がい者支援事業所連絡協議会総会・管理者研修会	6.5
平成 28 年度第 3 回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	11.10



④亀の子工房

15講座に 延べ22名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
第38回 全国福祉施設士セミナー	7.6～7
平成28年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【チームリーダーコース】	7.28～29
福祉サービス苦情解決研修会	10.24

⑤遊亀館

14講座に 延べ14名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
新入社員合同研修	9.21
平成28年度 福祉サービス苦情解決研修会	10.24
障害福祉事業経営セミナー	2.26～28

⑥ジョブ亀の子

7講座に 延べ8名の職員が受講しました。

主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
第18回全国就業支援ネットワーク定例研究・研修会	6.27～28
障害者就業・生活支援センター主任就業支援担当者研修	8.23～26
中国四国ブロック経験交流会議・中国四国ワーカー連絡会議	11.17～18

⑦タートルホーム

6講座に 延べ7名の職員が受講しました。

研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
サービス管理責任者研修(地域生活(知的・精神))	12.14～15
島根県精神障がい者支援事業所連絡協議会事業所スタッフ研修会	3.4

⑧コーポ亀の子Ⅱ

2講座に 延べ2名の職員が受講しました。

研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
第48回島根県精神保健福祉大会	11.8

⑨コーポ亀の子Ⅲ

4講座に 延べ4名の職員が受講しました。  
研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成28年度 障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.7～8

⑩たから保育園

17講座に 延べ27名の職員が受講しました。  
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
福祉職員キャリアパス対応生涯研修(中堅研修)	6.29～30
第60回 島根県保育研究大会	11.5
平成28年度保護者支援研修会	2.22～24

⑪かめっ子クラブ

19講座に 延べ23名の職員が受講しました。  
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成28年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程【初任者コース】	6.1～2
平成28年度第2回大田圏域高次脳機能障がい者支援研修会	8.20
平成28年度第3回 大田分教室定例研修会	12.26

⑫かめっ子クラブⅡ

10講座に 延べ12名の職員が受講しました。  
主な研修会は下記のとおりです。

研 修 名	実施月日
平成28年度 新任職員マナー研修	4.27～8
平成28年度 障がい者虐待防止・権利擁護研修	2.7～8
障害児者とのコミュニケーション技術研修会	3.11～12

3)主催研修

①障がい児支援研修会

放課後等デイサービスの職員及び地域の支援者のスキルアップのために北原侑先生(鳥取県立総合療育センター シニアディレクター)を講師に迎え、下記研修を開催いたしました。

研修名	対象者	実施日	参加人数
実践指導「事例を通して支援者の支援の在り方について」	対象児童の関係者等	6.27	13
	対象児童の関係者等	11.18	13
	保育園・対象児童の関係者 等	2.24	18

②高次脳機能障がい支援圏域研修会

島根県立心と体の相談センターより委託をうけ、下記研修会を開催いたしました。

研修内容	対象者	実施日	参加人数
①高次脳機能障がい者支援の理解 講師:土江啓悦 氏 ②高次脳機能障がい者の社会的行動 障がいについて 講師:妹尾晴夫 氏 (松江青葉病院 院長)	障がい福祉・ 高齢者福祉・ 医療・ 行政関係者	7.29	40
①東部島根医療福祉センターにおける 障がい児支援の実践的な取組み 講師:山崎佳史 氏 (東部島根医療福祉センター) ②高次脳機能障がい者の現状 講師:土江啓悦 氏	保育・ 小学校・ 障がい福祉・ 行政職員 等	8.20	31
認知障がいと やる気リハビリテーション 講師:高橋幸男 氏 (エスポアール出雲クリニック院長)	障がい福祉・ 高齢者福祉・ 行政職員 等	11.10	48

VI. 各種規程の新規作成・改定

各種法改正に基づき、就業規則、給与規程等の見直しを行い、修正・追加等を行いました。

VII. 法人運営会議

1) 法人運営会議

法人の円滑な運営を図るために、下記の日程で会議を開催しました。

	開催日							
	5/26	8/10	8/29	10/28	12/28	1/30	3/13	3/30
理事会	5/26	8/10	8/29	10/28	12/28	1/30	3/13	3/30
評議員会	5/26	8/29	10/28	12/28	1/30	3/30		
評議員選任・ 解任委員会	3/23							
監査会	5/26	10/6、11/4 は県の監査						

2) 役員研修

研修名	実施月日
公正採用選考推進セミナー「新しい人権について」	8.31
福祉医療機構経営セミナー	9.16
社会福祉法人新制度改革について	10.28
第48回島根県精神保健福祉大会	11.8

ふれあいフェスティバルおおだ	12.4
社福プロネットワーク研修会	2.3～4

### 3) 全体職員会議

構 成	全職員					
目 的	施設間の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。					
開 催	5.9	10.27				

### 4) 役職会議

構 成	役職員(理事長・施設長・館長・部長・次長)					
目 的	施設間の連絡、調整及び法人・施設業務が円滑に推進できるように調整を図る。					
開 催	4.18	5.26	6.17	7.14	8.10	9.20
	10.18	11.28	12.28	1.18	2.21	3.23

### 5) 就労生活委員会(旧 亀の子就労支援部会)

構 成	障がい各部門の役職者等					
目 的	障がいの各部署の連携及び利用者の就労に向けた支援がスムーズに図られるように調整を行う。					
開 催	8.31	10.26	11.24	12.15	1.12	2.9
						3.9

### 6) 虐待防止委員会

構 成	管理職・虐待防止マネージャー・看護師・利用者代表・家族代表・第三者委員					
目 的	利用者児の虐待を未然に防ぐための、施設環境づくりを目指す。					
開 催	9.7					

### 7) 職員会議

構 成	各部門の職員						
目 的	施設内の連絡、調整及び施設業務が円滑に推進できるように報告、説明、意見交換等を行うとともに職員相互の理解とチームワークの強化を図るため。						
開 催	亀の子工房 のほほん GH	4.12	5.10	6.13	7.12	8.12	9.12
		10.13	11.16	12.15	1.17	2.20	3.15
	ふぁみりー わーく	4.8	4.27	6.24	7.22	8.30	9.16
		10.14	11.25	12.16	1.20	2.17	3.24

遊亀館 ジョブ亀の子 サポートセンター	4.19	5.17	6.21	7.19	8.16	9.20
	10.18	11.15	12.19	1.17	2.21	3.21
かめっ子 クラブ	4.18	5.20	6.14	7.13	9.13	9.26
	10.11	11.8	12.8	1.12	2.22	3.10
たから 保育園	4.4	5.16	6.15	7.28	8.17	9.21
	10.19	11.16	12.21	1.18	2.15	3.15

## VIII. 情報公開

事業計画・収支予算書、事業報告・収支決算書等ホームページ上で情報公開を行いました。

## (2)障がい者支援部門

### I. 生活相談支援【亀の子サポートセンター】(相談支援事業所)

#### 1) 目的

障がい者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与、又は権利の擁護のために必要な支援を行うことにより、障がい者等やその家族における生活を支援し、在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を図る事を目的としています。

#### 2) 方針

大田地域で生活する、全ての障がい者を対象とし、この大田地域の中でごく当たり前に生きていける自信に、さらに繋がるように支援をおこないました。

#### 3) 開所時間

9:00 ～17:00 (土・日曜日・祝日は、電話を携帯電話に転送して対応)

17:00 ～ 9:00 (電話を携帯電話に転送して対応)

#### 4) 生活相談事業

(単位:件)(単位:人)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
訪問	77	71	72	59	67	84	58	62	53	96	68	76	843	70.3
来所相談	16	13	18	11	19	9	12	12	16	12	17	20	175	14.6
同行	16	16	11	15	4	9	10	18	14	13	18	16	160	13.3
電話相談	35	25	24	32	32	24	26	95	64	56	73	91	577	48.1
電子メール	0	0	0	0	0	4	0	3	1	4	1	4	17	1.4
個別支援 会議	17	13	17	5	10	18	16	26	11	15	20	29	197	16.4
関係機関	19	20	23	24	20	20	20	13	27	16	38	26	266	22.2
その他	4	0	1	0	2	0	0	0	1	1	3	1	13	1.1
計	184	158	166	146	154	168	142	229	187	213	238	263	2,248	201
実人数	74	73	74	71	66	79	70	73	70	73	79	85	887	73.9

#### 5) 認定調査

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
件数	4	3	0	9	3	6	1	3	3	7	3	3	45	3.8

#### 6) 相談実績

##### ①実績内訳

(単位:延べ件数)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
福祉サービスの利用 等に関する支援	109	92	104	85	81	88	83	104	92	87	93	147	1,165
障がいや病状の理 解に関する支援	13	23	13	12	15	7	8	38	29	26	15	13	212

健康・医療に関する支援	41	37	33	29	25	28	17	35	35	57	54	66	457
不安の解消・情緒安定に関する支援	35	29	36	27	38	48	35	81	59	53	45	49	535
保育・教育に関する支援	2	0	5	0	2	1	1	3	2	5	8	11	40
家族関係・人間関係に関する支援	15	17	16	15	27	16	13	34	22	32	28	29	264
家計・経済に関する支援	11	10	7	9	7	12	16	32	47	16	8	22	197
生活技術に関する支援	13	12	21	12	28	6	7	11	11	18	22	9	170
就労に関する支援	11	11	7	8	10	10	5	8	7	5	7	9	98
社会参加・余暇活動に関する支援	3	3	1	0	1	6	0	4	0	2	0	1	21
権利擁護に関する支援	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
住居に関する支援	8	3	9	7	3	7	1	7	0	2	6	9	62
地域生活移行・自立生活に関する支援	3	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	6
障害程度区分認定に関する支援	2	1	0	1	0	1	0	0	1	2	0	1	9
その他	5	4	1	8	5	0	5	5	5	5	13	9	65
合計	273	243	253	213	242	231	191	362	310	312	299	376	3,305

②計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	16	16	8	8	5	6	17	16	12	8	13	8	133
継続利用支援	42	43	40	38	35	51	39	39	36	25	19	36	443

③障がい児計画相談支援件数

(単位:件)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用支援	6	3	0	4	0	4	2	6	2	5	3	0	35
継続利用支援	9	3	7	4	5	8	7	4	8	6	8	3	72

④支援対象契約者数

	年度初め	新規利用者	利用終了者	年度末
障がい者	115	12	8	119
障がい児	26	7	0	33
合計	141	19	8	152

7) 一般相談支援事業

①地域移行利用状況

	退院者数	入院中	中断者	利用者数
こころの医療センター	0	1	0	1
合計	0	1	0	1

②地域定着利用状況

年度初め	新規利用者	利用終了者	年度末
5	1	0	6

8) 会議等参加状況

①大田市・相談支援事業所連絡会

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
出席者数	3	3	3	3	3	3	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
出席者数	3	3	3	3	3	3	36

②その他

連絡会名 等	参加回数	延べ参加者数
大田市自立支援協議会各部会	7	7
大田圏域相談支援事業所会議	1	3
病院・市町等保健所連絡会	2	2
障害者就業・生活支援センター連絡会議	2	2
高次脳機能障害者支援ネットワーク会議	3	6
ゆきみーる運営等検討会議	2	2
地活センター連絡会	2	4
精神障がい者地域生活移行・地域定着支援圏域会議	1	3
ウインドブロック連絡会	2	2
大田市自立支援協議会各部会	7	7



## Ⅱ. 日常生活支援【のほほん】(地域活動支援センター)

### 1) 目的

障がい者に創作活動又は生産活動の機会を提供し、地域交流活動等を行うことにより、障がい者の自立及び社会参加の促進を図ることを目的としています。

### 2) 方針

大田市で生活する全ての障がい者を対象として、障がい者がごく当たり前生きていける自信に繋がるように支援をおこないました。

### 3) 開所時間

9:00 ~16:00

### 4) 地域交流活動推進事業

#### ①開館日数及び利用者数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開館日数	27	26	28	28	25	26	27	27	25	25	25	29	318
利用者数	69	72	73	74	68	67	66	75	67	70	70	78	113
1日平均	17.1	18.6	17.9	18.1	18.8	17.0	16.8	17.4	16.6	17.0	17.4	18.1	17.6

#### ②月例行事

料理教室には精神保健福祉ボランティア「うさぎの会」の皆様にも協力してもらい、メンバーさんも楽しく参加することができました。

(単位:人)

月例行事	開催数	延べ	平均
カラオケ	27	197	7.3
お茶会	48	955	19.9
スポレク	24	108	4.5
のほほんシアター	20	146	7.3
料理教室	17	191	11.2
絵画同好会	4	8	2.0
みんなで歌おう	4	29	7.2
ミュージックケア	6	107	17.8
創作活動	21	81	3.8
家族相談支援事業	22	78	3.5
ショッピング	8	37	4.6
脳トレ	19	100	5.3
エアロビクス教室	10	154	15.4
ゲーム	22	110	5.0
川柳を読もう	6	15	2.5

月例行事	開催数	延べ	平均
クッキング	9	52	5.8
紙芝居	2	18	9.0
Myカレンダー作り	11	54	4.9
合計	280	2,440	8.7

### ③各月行事

月	内容	参加人数
4月	お花見	8
6月	フライングディスク フライングディスク大会	7 8
8月	マジックショー Let`s play English	10 10
9月	消防訓練(職員のみ参加)	0
12月	ミニクリスマス会	7
1月	ミーティング 初釜 餅つき 五十猛グロ 健康体操	4 33 1 6 16
2月	節分祭 芸術鑑賞	7 6
3月	ひな祭り 消防訓練	4 4
合計	16件	131

### 5) 高次脳機能障害者支援拠点事業

#### ①支援対象者

(平成29年3月31日現在)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男	0	1	2	1	5	7	16
女	0	0	1	3	2	2	8
計	0	1	3	4	7	9	24

#### ②新規相談者数

実人員	医療機関	障がい者支援事業所	介護保険事業所	保健所	市町村	その他	なし
2	1	0	0	0	0	1	0

③相談延べ件数

	電話	来所	訪問	メール・書簡	その他	計
本人	20	48	29	7	4	108
家族	4	5	0	2	0	11
関係機関	39	25	11	1	0	76
計	63	78	40	10	4	195

④大田圏域支援ネットワーク会議

	開催日	会場	参加者数
第1回	H28.5.20	県央保健所 集団指導室	28名
第2回	H28.8.19	県央保健所 集団指導室	21名
第3回	H29.1.27	県央保健所 集団指導室	25名

⑤圏域研修会開催

島根県立心と体の相談センターの委託を受け、3回実施しました。詳細は、P.8にて掲載しております。

⑥高次脳家族の集い実績

開催日	内容	参加者				計
		当事者	家族	ボランティア	関係者等	
6.8	①成年後見制度学習会 ②今年度の計画話合い ③近況報告会	7	3	1	4	15
9.14	米子ワークホーム・ワークなぎら 見学	7	2	0	3	12
12.14	①お口の健康学習会 ②近況報告会	6	1	1	3	11
3.8	①料理教室「箱寿司作り」 ②近況報告会	4	3	5	3	15

⑦その他活動.

「脳外傷友の会らぶ」会員の協力により、家族相談を実施しました。

(相談開催日数) 計4回

⑧高次脳機能障害者支援コーディネーター

坂根 勉

### Ⅲ. 生活訓練・介護支援【ふぁみりーわーく】

(自立訓練(生活訓練)事業・生活介護事業)

#### 1) 支援方針

- ①自立に向けて、SST 等を活用して個々の生活能力の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がいの重い人や、高齢の利用者は、傾聴に努め体力維持を主体に支援しました。
- ③作業を通じて達成感を持ち、社会の一員としての役割が持てるように支援をしました。
- ④レクリエーション活動を通じて、楽しみや充実感を持てるように支援をしました。
- ⑤たから保育園の園児と農作業を通して、世代間交流をしながら、体力作りと自然にいそしみ野菜が実る楽しみを支援しました。
- ⑥一人ひとりのニーズに沿った個別支援計画を立案し支援しました。

#### 2) 支援時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に11:45～13:00を昼食時間とする。)

#### 3) 各事業部門事業内容及び成果

##### ①自立訓練(生活訓練)事業

- SST教室
- レク活動(ウォーキング、うさぎの会やスマイルとの交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- 料理教室・買い物訓練を実施
- 箱折り、袋詰め、シール貼り、手芸の作業訓練を実施
- 身体機能の低下を予防する為の健康体操を毎日実施
- 日帰り研修旅行(姫路)を実施
- 入浴支援を実施
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

##### ②生活介護事業

- 身体機能の低下を予防するための健康体操を実施
- ぬり絵・手芸の実施
- 農作業・袋詰め・シール貼り等の活動を実施
- 医師・看護師等による健康管理を実施
- 入浴支援を実施
- 料理教室・買い物の訓練を実施
- 日帰り研修旅行(姫路)を実施
- レクリエーション(ウォーキング、うさぎの会との交流、地域交流、軽スポーツ、カラオケ、市外へ外出 等)
- SST 教室
- バランスの良い昼食の提供と通所支援のための送迎の実施

##### ③成果

- 軽作業やレクリエーションを通じて、利用者が主体的に活動でき、楽しみや生きがいにつながりました。
- 外出支援で、選挙の期日前投票に出かけ、社会に参加することができました。
- 嘱託医の健康相談や看護師の健康管理により、健康面での意識の向上が図

- られ、必要な方には専門医の受診が速やかにおこなうことができました。
- コミュニケーションの振り返りや SST 教室でのロールプレイを通して、日常生活の技能の向上が見られました。
  - 昼食の提供により、バランスの良い食事摂取ができ、体調を整えることができました。
  - 送迎支援により、体の不自由な方や遠方の方の利用が可能となり、生活リズムを整えることができました。
  - 福祉制度について、勉強する機会を持つことで、自分のこととして意識し主体的に更新申請をする意識の向上が見られました。

#### ④研修

- 「亀の子工房」との合同研修会を実施しました。(詳細は20頁に記載)

#### ⑤利用者の主な障がい種別

	精神障がい	知的障がい	身体障がい	その他
自立訓練 (生活訓練)	2名	2名	0名	0名
	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
生活介護	13名	2名	1名	0名
	81.3%	12.5%	6.2%	0.0%

#### ⑥利用者年齢別構成表(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

		～29	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
自立訓練 (生活訓練)	男性	0	0	0	1	0	1	52歳4ヶ月
	女性	0	2	0	0	1	3	44歳0か月
	計	0	2	0	1	1	4	46歳1か月
生活介護	男性	0	0	1	4	3	8	57歳8か月
	女性	0	0	2	2	4	8	58歳3か月
	計	0	0	3	6	7	16	57歳11か月
合計	男性	0	0	1	5	3	9	57歳0か月
	女性	0	2	2	2	5	11	54歳4か月
	計	0	2	3	7	8	20	55歳7か月

#### ⑦利用年数(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

		1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
自立訓練 (生活訓練)	男性	0	1	—	—	1	1年0か月
	女性	1	2	—	—	3	1年3か月
	合計	3	3	—	—	4	1年2か月
生活介護	男性	0	2	1	5	8	4年7か月
	女性	2	0	2	4	8	4年1か月
	合計	2	2	3	9	16	4年4か月
合計	5	5	3	9	20	3年8か月	

⑧利用者手帳所持者数(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

		精神 1級	精神 2級	精神 3級	療育 A	療育 B	身体 2級	不明	合計
自立 訓練 (生活 訓練)	男性	0	1	0	0	0	0	0	1
	女性	0	1	0	0	2	0	0	3
	計	0	2	0	0	2	0	0	4
生活 介護	男性	1	5	0	0	1	1	0	8
	女性	4	3	0	0	1	0	0	8
	計	5	8	0	0	2	1	0	16
合計		5	10	0	0	4	1	0	20

⑨平均利用日数

○自立訓練(生活訓練)事業【定員 6名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	21	20	22	21	22	21	22	21	22	20	20	23	21.3
登録者数	6	7	6	5	6	5	5	5	4	4	4	4	5.1
延べ利用者数	89	104	111	95	101	69	79	80	84	72	76	72	86
1日当り利用者数	4.2	5.2	5.0	4.5	4.6	3.3	3.6	3.8	3.8	3.6	3.8	3.1	4.1

○生活介護事業【定員 14名】

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	21	20	22	21	22	21	22	21	22	20	20	23	21.3
登録者数	20	18	18	18	17	18	19	18	18	17	17	16	17.8
延べ利用者数	281	301	350	338	336	334	368	341	367	280	287	300	323.6
1日当り利用者数	13.4	15.1	15.9	16.1	15.3	15.9	16.7	16.2	16.7	14.0	14.4	13.0	15.2

⑩利用者推移

○利用者推移表

(単位:人)

	年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
自立訓練 (生活訓練)	6	2	4	4
生活介護	19	4	7	16
合計	25	6	11	20

○退所者の行先

	退所後の様子
自立訓練 (生活訓練)	生活介護(1名)、就労継続B型(1名)、就職(1名)、 入院(1名)
生活介護	他事業所(3名)・自宅(3名)、死亡(1名)

#### IV. 作業訓練等支援【亀の子工房】(就労継続支援 B 型事業)

##### 1) 支援方針

- ①自立に向けて、個々の能力に応じて、地域で働けるよう作業意欲を養い、能力の開発並びに意識の向上に努め、自立を促しました。
- ②障がい重い人や、高齢の利用者は精神面や体力維持を主体に支援しました。
- ③障がい者(精神・知的・身体等)を、障がいの程度に沿った支援を行いました。

##### 2) 作業時間

9:00 ～ 16:00 (原則的に12:00～13:00を昼食時間とする。)

##### 3) 事業実施内容及び成果

###### ①給食工房

- ・学校給食センター・地元農家と連携して地産地消に取り組んだ結果、カット野菜の種類も増えて、売り上げ増につながりました。
- ・既存商品の生産量を増やし、売り上げ増につながりました。

###### ②豆腐工房

- ・製品の廃棄やロスを見直したことで、収益アップにつながりました。
- ・製造について、工程や効率を上げるための方法をメンバーと一緒に考えることで、一人ひとりの作業に対する気持ちと責任感が向上しました。

###### ③印刷工房

- ・新しくデザインに挑戦し、オリジナルメモ帳を作成して販売しました。創る意欲・仕事の幅が広がりました。
- ・横の連帯をスムーズにし、仕事のしやすい環境作りに努め、ミスを減らしたことで、収益アップにつながりました。

##### 4) 研修

①「ふぁみりーわーく」との合同研修会を下記のとおり実施しました。

日付	内容	亀の子工房	ふぁみりーわーく
5.21	交通安全教室	17	18
7.16	自宅にいる時に災害にあったら	18	17
10.15	人権学習	16	18

###### ②研修旅行

実施日	場所	内 容	亀の子工房	ふぁみりーわーく
11.19	津山・姫路	日帰り研修旅行	19	15

5)利用者年齢別構成表(平成29年3月31日現在) (単位:人)

	～29	30代	40代	50代	60～	計	平均年齢
男性	4	3	1	4	1	13	40歳3か月
女性	0	0	7	3	0	10	45歳8か月
計	4	3	8	7	1	23	42歳8か月

6)利用者の主な障がい種別(平成29年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい	発達障がい
12名	6名	1名	2名	2名
52%	26%	4%	9%	9%

7)利用年数(平成29年3月31日現在) (単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	0	5	2	6	13	4年8か月
女性	3	3	3	1	10	3年1か月
計	3	8	5	7	23	4年1か月

8)利用者手帳所持者数(平成29年3月31日現在) (単位:人)

	精神1級	精神2級	精神3級	療育A	療育B	身体	手帳なし	合計
男性	0	6	2	0	4	1	0	13
女性	0	7	0	0	2	1	0	10
計	0	13	2	0	6	2	0	23

9)平均利用日数【定員20名】 (単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	21	20	22	21	22	21	22	21	22	20	20	23	21.3
登録者数	25	24	25	26	25	24	24	24	23	23	23	23	24.0
延べ利用者数	430	399	420	396	428	394	406	382	395	339	341	407	394.7
1日当り利用者数	20.4	19.9	19.0	18.8	19.4	18.7	18.4	18.1	17.9	16.9	17.0	17.6	18.5

10)利用者推移 (単位:人)

年度初	新規通所者数	退所者数	年度末
25	3	5 (2)	23

注) ()内は年度末退所者数

退所者の行先は、就労(2名)・就労継続支援A型(2名)・在宅(2名)・入院(1名)



11)利用者の平均工賃  
時給 240円(前年度234円)

12)行事

月日	実施内容
4.5	花見
6.9	ボウリング大会
8.19	納涼祭
9.9	大田市障がい者スポーツ大会
9.13	消防訓練
10.1	亀の子祭
11.8	島根県精神保健福祉大会
11.19	日帰り研修旅行
12.4	ふれあいフェスティバル
12.17	忘年会
1.6	もちつき大会
2.9	スキー教室
3.14	消防訓練

## V. 福祉的就労支援【遊亀館】(就労継続支援 A 型事業)

### 1) 支援方針

- ①障がい者が雇用の機会を通じ、就労することの喜びや厳しさを得るように支援を行い、社会人としての必要な知識及び能力の向上のための訓練その他の便宜を適切かつ効果的に支援しました。
- ②利用者(顧客)へは、常に質の高いサービスを提供するとともに顧客満足の追及を怠らずサービスの向上に努めました。

### 2) 利用者の就労時間

8:50 ~ 17:00

### 3) 利用者人数と賃金

- ①19名 (H29年3月現在)
- ②時給718円 (H29年3月現在) 従業員月額平均賃金 57,901円

### 4) 活動の報告

- ①A 型からの一般就職者1名、新規 A 型利用者2名を雇用。退所者は1名。
- ②個別支援計画に基づいた就労の提供・支援を行いました。
- ③従業員の生活支援・健康管理・就労支援を行いました
- ④就労能力向上の研修会に参加いたしました。
- ⑤年間売上目標達成に向けて、企画・営業・広報活動を行いました。
- ⑥職場実習の受け入れ・従業員の研修会を行いました。
- ⑦地域行事への参加、及び法人内の行事・研修に参加いたしました。
- ⑧第3土曜日の午前中に研修会を実施しました。

#### 部門別

部門名	内容
配食サービス	介護保険認定者等への普通食や治療食の配食サービスを実施し、出雲養護学校邇摩分教室への給食を提供しました。また、家族への安否確認のメールサービスを実施しました。
天然酵母 pole pole	パン・焼き菓子の製造販売を行ないました。また、新商品の開発、新規販売先を開拓しました。
施設外就労	法人の児童及び障がい児施設内において就労支援を行いました。また、農福連携事業として新たな施設外就労先を開拓しぶどう園にて農作業を行いました。

### 5) 部門別利用者表 (H29年3月31日現在) (単位:人)

部門	男性	女性	計
給食・配食サービス	7	1	8
天然酵母 pole pole	0	5	5
施設外就労	4	2	6
計	11	8	19

6) 部門別加入保険状況表(H29年3月31日現在) (単位:人)

	加入保険		計
	雇用保険	社会保険	
配食サービス	7	0	7
天然酵母 pole pole	0	0	0
施設外就労	5	0	5
合計	12	0	12

7) 利用者の主な障がい種別(平成29年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
13名	4名	0名	2名
68%	21%	0%	10%

8) 利用者年齢別構成表(平成29年3月31日現在) (単位:人)

	10代	20代	30代	40代	50代～	計
男性	1	3	2	2	3	11
女性	0	3	2	2	1	8
合計	1	6	4	4	4	19

9) 利用者手帳所持者数 (平成29年3月31日現在) (単位:人)

	1級	2級	3級	療育	なし	合計
男性	0	5	4	2	0	11
女性	1	4	1	2	0	8
合計	1	9	5	4	0	19

10) 職場実習件数 7件

11) 職場実習受け入れ件数 4件

出雲養護学校 1人、福祉施設 1人、その他 2人

12) 従業員支援

個別支援計画に基づき、自己決定を尊重しながら働くことの厳しさや意識をもってもらえるよう就労支援を致しました。生活支援については、家族や相談支援事業所等との連携を行いました。また就労に際し医療が必要な場合等は同行受診や家庭訪問も行いました。一般就労支援においては、就業・生活支援センター等との連携も実施いたしました。

13) 従業員の健康管理

体調の自己管理等ができるように、看護師・栄養士による健康講座を実施いたしました。

## VI. 一般就労支援【ジョブ亀の子】(障がい者就業・生活支援センター)

### 1) 目的

就職や職場適応などの就業面の支援及び生活習慣の形成や日常生活の管理などの就業の継続に伴う生活支援が必要な障がい者に対して、雇用、福祉、保健、教育等の関係機関と連携を図りながら、身近な地域において必要な指導、助言その他支援を行うことにより、職業生活における自立を図ることを目的とします。

### 2) 事業の内容

- ①障がい者からの相談に応じ、その就業及びこれに伴う日常生活上の問題について、必要な指導及び助言その他の援助を行いました。
- ②事業主に対して障がい者の就職後の雇用管理に係る助言等を行いました。
- ③障がい者に対して障害者職業センター、事業主により行われる職業準備訓練を受けること及び職場実習を行うことについて斡旋を行いました。
- ④障がい者の雇用の場、職場実習の場を広げる活動を行いました。
- ⑤障がい者の就職後の職場定着支援を実施しました。
- ⑥県、市町村、公共職業安定所、障害者職業センター等の関係機関との連絡会議を開催し、これらの関係機関との連携を図りました。
- ⑦在職者のための交流会「パキラ」を年4回(5月、6月、10月、11月)開催しました。
- ⑧大田市自立支援連絡会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑨邑南町自立支援協議会就労支援部会の取り組みに協力しました。
- ⑩島根県障がい者就労支援ネットワーク構築事業を受託し実施しました。
- ⑪島根県より障がい者チャレンジ事業を受託し、職場実習の拡大を行いました。
- ⑫島根県より障がい者雇用促進支援員配置業務を受託し、事業所開拓を行いました。

### 3) 支援対象障がい者の状況

#### ①登録状況

(単位:人)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合計
在職者	6	69	43	12	130
求職者	5	24	27	4	60
その他	0	0	1	0	1
合計	11	93	71	16	191

### 4) 障がい者に対する支援の実施状況

#### ①支援対象障がい者に対する相談・支援件数(手段別)

(単位:件)

ジョブ亀の子への来所	627
電話・メール	1,415
職場訪問	655
家庭・施設への訪問	229
その他	517
合計	3,443

②支援対象障がい者に対する相談・支援件数(内容別) (単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
就職に向けた相談や支援	8	389	262	33	692
職場定着に向けた相談・支援	94	598	430	75	1,197
日常生活・社会生活に関する相談・支援	13	437	241	29	720
就業と生活の両方にわたる相談・支援	29	397	365	43	834
合 計	144	1,821	1,298	180	3,443

③支援対象障がい者の就職件数 (単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
一般 (30時間以上)	0	5	5	3	13
短時間(20時間以上 30時間未満)	0	8	3	0	11
短時間 (20時間未満)	0	1	1	0	2
合 計	0	14	9	3	26

④支援対象障がい者の実習件数 (単位:件)

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	その他	合 計
3日以上の実習	0	25	18	2	45

5) 事業主に対する雇用管理に関する支援の実施状況

①相談・支援を行った事業所数・・・109 事業所

②相談・支援件数(手段別) (単位:件)

ジョブ亀の子への来所	5
電話・メール	120
企業訪問	742
その他	0
合 計	867

6) 障がい者就業・生活支援センター事業連絡会議

①第1回連絡会議開催・・・平成28年 6月13日(月) 於:石見銀山世界遺産センター  
参加:30機関 43名

②第2回連絡会議開催・・・平成29年2月23日(木) 於:あすてらす  
参加:40機関 47名

7) 職場定着促進のための在職者の交流会「パキラ」

① 第1回開催・・・平成28年5月21日(土)

浜田障害者就業・生活支援センターレントと合同開催  
「あいサポーター研修といちご狩りで交流」 参加:20名

② 第2回開催・・・平成28年10月1日(土)

亀の子祭に参加  
「コミュニケーション能力を高めよう」  
亀の子祭に来場されるお客様に笑顔で接して楽しんでいただく  
参加:13名

③ 第3回開催・・・平成28年11月19日(土)

「障がい者のための社会人マナーセミナー」 参加:11名

④ 第4回開催・・・平成29年1月21日(土)

グループワークと新年会  
「長く楽しく働くために必要なことは」 参加:20名

8) ネットワーク強化・充実事業

① 「障がい者雇用促進研修会」

日 時 : 平成28年7月21日(木)  
会 場 : あすてらす  
参 加 者 : 22企業(24名) 3機関(3名) 計27名

② 「障がい者のための社会人マナーセミナー」

日 時 : 平成28年11月19日(土)  
会 場 : 社会福祉法人亀の子 防災センター会議室  
内 容 : 「職場のルールとマナー」  
講 師 : 株式会社島根人材育成 江角 尚子 氏  
参 加 者 : 36名

③ 「農福連携先進地視察」

日 時 : 平成28年12月13(火)～14日(水)  
場 所 : 愛媛県伊予郡  
株式会社パーソナルアシスタント青空 メイドイン青空  
参 加 者 : 11事業所 計12名

④ 「障がい者一般就労体験発表」

日 時 : 平成29年1月25日(水)  
会 場 : 大田市民センター  
参 加 者 : 95名

## VII. 住まいの支援

### 【タートルホーム】(外部サービス利用型共同生活援助事業)

#### 1) 基本方針

- ① サービス利用計画書に従い、利用者の自己自立の促進を促します。
- ② 将来は一般アパートに入居できるよう、生活支援をしていきます。

#### 2) 入居状況推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
10名	10名	0名	0名	10名

#### 3) 入居者構成表(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

	~29	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢
男性	0	1	0	2	1	4	50歳 7か月
女性	0	0	0	3	3	6	60歳11か月
合計	0	1	0	5	4	10	56歳 9か月

#### 4) 入居年数(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	0	2	0	2	4	4年11か月
女性	0	2	2	2	6	4年 3か月
合計	0	4	2	4	10	4年 6か月

#### 5) 利用者の主な障がい種別

(平成29年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
8名	1名	0名	1名
80%	10%	0%	10%

#### 6) 福祉サービス利用先等

(単位:人)

一般就労	亀の子工房	ふぁみりーわーく		合計
		自立訓練	生活介護	
0	3	0	7	10

#### 7) その他

- 服薬確認や家族・病院との連携に務めました。
- 毎月全員でミーティングを実施しました。

## 【コーポ亀の子Ⅱ】(外部サービス利用型共同生活援助事業)

### 1) 基本方針

住まいの場の提供を図り、それぞれが快適に、自分らしく生活できるように、自己自立を図るように、住まいの提供とともに、必要な生活支援をしています。

### 2) 入居状況推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
5名	5名	0名	0名	5名

### 3) 入居者構成表(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢
男性	1	0	1	0	1	3	45歳5か月
女性	0	1	1	0	0	2	40歳7か月
合計	1	1	2	0	1	5	43歳5か月

### 4) 入居年数(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	0	1	0	2	3	6年2か月
女性	0	1	0	1	2	6年6か月
合計	0	2	0	3	5	6年3か月

### 5) 利用者の主な障がい種別

(平成29年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
4名	0名	0名	1名
80%	0%	0%	20%

### 6) 福祉サービス利用先等

(単位:人)

一般就労	遊亀館	ふぁみりーわーく		合計
		自立訓練	生活介護	
3	1	1	0	5

### 7) その他

○毎月1回、全体ミーティング(生活状況等)をおこないました。



## 【コーポ亀の子Ⅲ】(外部サービス利用型共同生活援助事業)

### 1) 基本方針

住まいの場の提供を図り、それぞれが快適に、自分らしく生活できるように、自己自立を図るように、住まいの提供とともに、必要な生活支援をしています。

### 2) 入居状況推移表

定員	年度初	新規入居者	退所者	年度末
4名	4名	0名	0名	4名

### 3) 入居者構成表(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

	20代	30代	40代	50代	60以上	計	平均年齢
男性	0	0	0	2	1	3	63歳1か月
女性	0	0	0	1	0	1	57歳1か月
合計	0	0	0	3	1	4	61歳7か月

### 4) 入居年数(平成29年3月31日現在)

(単位:人)

	1年未満	3年未満	5年未満	5年以上	合計	平均年数
男性	0	1	1	1	3	4年1か月
女性	0	0	1	0	1	4年4か月
合計	0	1	2	1	4	4年2か月

### 5) 利用者の主な障がい種別

(平成29年3月31日現在)

精神障がい	知的障がい	身体障がい	高次脳障がい
4名	0名	0名	0名
100%	0%	0%	0%

### 6) 福祉サービス利用先等

(単位:人)

一般就労	亀の子工房	ふぁみりーわーく		合計
		自立訓練	生活介護	
0	2	0	2	4

### 7) その他

○毎月1回、全体ミーティング(生活状況等)をおこないました。

### (3) 児童支援部門

#### I. 保育支援【たから保育園】(認可保育所)

##### 1) 保育方針

- ①子どもの信頼関係を大切にし、一人ひとりが安心して自分を出して生活できるような保育をします。
- ②縦割りの中で子どもたち同士のつながりや、思いやりの気持ちが持てるようにします。
- ③家庭的な雰囲気の中でゆったりと過ごせるようにします。
- ④地域の中で保育を大切にし、様々な人との交流の場を広げます。

##### 2) 保育目標

- 心身ともに健康で心豊かな子ども
- 協調性・自主性のある明るい子ども
- よく見・よく聞き・よく考え・行動できる子ども

##### 3) 保育内容

- ①保育時間 月～金曜日 7:30～18:30  
土曜日(午後は希望保育) 7:30～18:30
- ②延長保育 月～土曜日(有料) 19:30まで
- ③一時保育 月～金曜日(休止)(有料) 8:30～16:30

##### 4) 職員構成

(単位:人)

園長	副園長	保育職員			栄養士	調理員	看護師	事務	計
		主任	常勤	非常勤					
1	1	1	10	6	1	2	1	1	24

顧問医:やまうち内科 山内院長 顧問歯科医:フジタ歯科 藤田院長

##### 5) 保育人数

###### ①通常保育(平成29年3月)

(単位:人)

0歳児 びしゃもん	1歳児 ふくろく	2歳児 べんてん	3歳児 ほてい	4歳児 えびす	5歳児 だいこく	合計	保育 定員
7	12	13	14	10	1	57	50

###### ②障がい児保育事業

- ・平成28年度・・・1名【医師意見書(診断名入り有)】

###### ③延長保育事業

- ・平成28年度・・・701名(延人数)

###### ④一時保育事業

- ・平成28年度・・・休止

###### ⑤病児保育【体調不良児対応型】・・・24名(延人数)

## 6) 保育園行事

行事	実施日	場所	参加者
開園・入園式	4月4日	たから保育園	入園児52名・保護者・来賓
礼拝	11回実施	瑞応寺	2～5歳児
誕生会	毎月実施	たから保育園	全園児
お茶のおけいこ	8回実施	たから保育園	4～5歳児
英語教室	23回実施	たから保育園	全園児
散歩遠足	8回実施	保育園近辺	全園児
カラ弁当の日	3回実施	たから保育園	全園児
花まつり	4月30日	たから保育園	全園児・保護者参加・かめっこクラブ
親子遠足	5月25日	松江フォーゲルパーク	園児48名 家族他53名
交通安全教室	6月7日	たから保育園	園児44名 警察官2名
七夕・夏祭り会	7月9日	たから保育園	園児51名・保護者他
運動会	10月15日	たから保育園	園児57名 保護者他
保育参観	6/23・27 10/24・25、 11/7・9・11 21・22・24・ 25 12/13・14	たから保育園	園児 保護者44名(延人数)
餅つき会	12月8日	たから保育園	園児51名・食育ボラ3名
クリスマス会	12月21日	たから保育園	園児56名
節分会	2月3日	たから保育園	園児51名
お楽しみ会	3月4日	たから保育園	園児52名 保護者他多数
ひな祭り会	3月3日	たから保育園	園児53名
お別れ遠足	3月16日	宮崎公園・代官山公園	全園児
お別れ会	3月22日	たから保育園	園児57名
卒園式・親子茶会	3月29日	たから保育園	卒園児1名・ 在園児24名・保護者3名・来賓4名
身体測定	毎月実施	たから保育園	

行事	実施日	場所	参加者
歯科検診	6月2日	たから保育園	
内科検診	11月・3月	たから保育園	
防災・消火避難訓練	毎月実施	たから保育園	
クッキング	7回実施 (7~9月を除く)	たから保育園	

○礼拝は、バスで行けるので子どもたちも楽しみにしていました。

(2歳児もバスに乗って出かけることを楽しみにしていました)

○各行事も保護者参加がたくさんあり、協力してもらえたことによりスムーズに進行できました。

○お茶のおけいこは回数的にも丁度良かったです。3月のお茶のおけいこは前半に1回行うことで親子茶会の打ち合わせもできて、2回実施できよかったです。

○活動内容や、保護者の参加しやすい行事日程を考えて行く必要がある。

○七夕夏祭りとして、保育園主体で行うことで、保護者の方に楽しんでいただけたと思います。

## 7) 地域活動事業

### ① 世代間交流

開催日	内容
5月24日	ふぁみりーわーく利用者と野菜の苗植え

### ② 異年齢児交流

開催日	内容
4月20日	新入園児歓迎会
5月25日	親子遠足
7月9日	七夕・夏祭り会
10月15日	運動会
12月21日	クリスマス会
3月3日	ひな祭り
3月16日	お別れ遠足
3月22日	お別れ会

### ③ 地域交流

開催日	内容
4月30日	花まつり
10月1日	亀の子祭
12月8日	餅つき会

## II. 障がい児通所支援

### 【かめっ子クラブ】(放課後等デイサービス事業・児童発達支援事業)

#### 1) 目的

未就学期や学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

#### 2) 方針

- ①未就学の障がい児が日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、並びに集団生活に適応することができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。
- ②学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

#### 3) 開所日

- ①放課後等デイサービス事業 : 月曜日～土曜日
- ②児童発達支援事業 : 月曜日～金曜日  
但し、両事業とも祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

#### 4) 開所時間

- ①児童発達支援事業 9:00 ～ 13:30
- ②放課後等デイサービス事業  
平日 14:00 ～ 18:00  
学校休業日 8:30 ～ 16:30  
(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援を実施)

#### 5) 対象地域・送迎エリア

- 利用児童対象地域 : 大田市全域  
送迎可能地域 : 長久町・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・  
静間町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩町

#### 6) 利用定員 10名

(児童発達支援事業と放課後等デイサービス事業の合算)

#### 7) 行事

開催月	内容
4月	お花見・誕生会
5月	さつま芋苗植え・端午の節句・クッキング・誕生会
6月	玉ねぎ収穫・虫歯予防デー・誕生会
7月	七夕会・陶芸教室・プール遊び
8月	海水浴・梨狩り・染め物・プール遊び・夏祭り・マジックショー クッキング
9月	避難訓練(火災)・散歩
10月	亀の子祭参加・運動会・誕生会・散歩

開催月	内容
11月	作品展・野菜苗植え・スポーツ大会・散歩
12月	クッキング・クリスマス会・凧作り・誕生会・スポーツ大会
1月	初詣・書き初め・凧揚げ・誕生会・スポーツ大会
2月	節分・雪遊び・写真展
3月	ひな祭り・ジャガイモ苗植え・避難訓練(火災・水害)・誕生会
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会

#### 8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室・島根県西部発達障がい者支援センターウインドなど関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侑シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

#### 9) 利用数

##### ①放課後等デイサービス事業 (単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	23	26	25	24	24	25	24	24	23	23	26	24.3
利用児童数	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	13	12.6
延べ利用児童数	221	177	251	237	224	228	250	229	246	221	204	264	229.3
1日当り利用児童数	8.8	7.7	9.7	9.5	9.3	9.5	10.0	9.5	10.3	9.6	8.9	10.2	9.4

##### ②児童発達支援事業

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	6	6	6	6	2	4	8	8	7	6	5	8	6.0
利用児童数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	2.3
延べ利用児童数	6	8	6	6	2	7	9	11	9	8	6	12	7.5
1日当り利用児童数	1.0	1.3	1.0	1.0	1.0	1.8	1.1	1.4	1.3	1.3	1.2	1.5	1.3

## 【かめっ子クラブⅡ】(放課後等デイサービス事業)

### 1) 目的

学齢期にある心身障がい児に対し、療育及び遊びや文化活動を通しての集団活動や社会適応訓練、基礎的な育成指導等を行うことを目的とします。

### 2) 方針

学齢期の障がい児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとします。

### 3) 開所日

月曜日～土曜日

但し、祝祭日及び年末年始(12/30～1/3)・お盆(8/13～15)を除く)

### 4) 開所時間

平日 14:00 ～ 18:00

学校休業日 8:30 ～ 16:30

(但し、必要児童に対しては18時までの延長支援実施)

### 5) 対象地域・送迎エリア

利用児童対象地域 : 大田市全域

送迎可能地域 : 長久町・大田町・久手町・波根町・朝山町・鳥井町・  
静間町・大屋町・五十猛町・久利町・川合町・仁摩町

### 6) 利用定員 10名

### 7) 行事

開催月	内容
4月	お花見
5月	消防署見学・誕生会
6月	むし歯予防デー
7月	七夕会・陶芸教室・プール遊び
8月	海水浴・梨狩り・染物・プール遊び・マジックショー・ クッキング・夏祭り
9月	避難訓練・クッキング・誕生会
10月	亀の子祭参加・運動会・クッキング
11月	スポーツ大会
12月	クリスマス会・クッキング・凧作り・誕生会・スポーツ大会
1月	初詣・書初め・凧上げ・誕生会・クッキング・スポーツ大会
2月	節分・バレンタインディ・雪遊び
3月	ひな祭り・避難訓練(火災・水害)・お楽しみ会・誕生会・ クッキング
毎月	ミュージックケア・身体測定・図書館・お話し会

#### 8) 支援活動内容

- ①保護者や市内小学校・出雲養護学校大田分教室・島根県西部発達障がい者支援センターウインドなど関係機関と連携を取りながら利用児童の支援を行いました。
- ②鳥取県立総合療育センターの北原侘シニアディレクターに来ていただき、障がい児支援についての研修や指導をうけ、よりよい支援のし方を学びました。

#### 9) 平均利用数

(単位:人)

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
営業日数	25	23	26	25	24	24	25	24	24	23	23	26	24.3
利用児童数	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	15.7
延べ利用児童数	211	176	234	203	219	208	230	227	241	208	205	248	217.5
1日当り利用児童数	8.4	7.7	9.0	8.1	9.1	8.7	9.2	9.5	9.6	9.0	8.9	9.5	8.9

#### (4) メンバーの家族との連携

適切な支援と健全な育成を図るためには、障がい者が住み慣れた地域での生活や社会的自立を促進するために、家族の理解と協力は必須で欠くことのできないことであり、互いの連携を密にし、信頼関係を保持しなければなりません。

このため、各種行事の参加要請、研修会の開催等を行い理解と協力を求めております。また、機関紙等を利用して連携に努めました。

大田地域家族会「親和会」の事務局補助をのほほん職員が担当し、家族の支援を行い、共に障がい者福祉の理解を求めました。

#### (5) 苦情解決

平成28年度は、利用者や地域住民から下記の苦情申し立てがございましたが、解決に向けて話し合いを行い、改善等を行った結果、申立者より納得・理解をもらうことができました。

施設名	内 容	件数
亀の子工房	職員の運転していた車が交差点で、対向車と接触しそうになり、相手から交通ルールを守るよう指導がなっていないと苦情が入った。	1
遊亀館	配食弁当を届けに行ったときに、車の運転が危険だと苦情が入った。	1
合 計		2



## (6)職員

### 1)職員の役割

施設の主体者はメンバーです。常にメンバーの人権を尊重し豊かな感性を持ち、相手の立場に立った、よき理解者として心がけました。組織の一員として、また専門職としての自覚の下に、信頼を得るよう努めました。かつ、職務分掌に基づき速やかに職務を遂行するよう務めました。

一方、施設の効率的運営に留意、協力すると共に常に問題意識をもち、研究心を忘れないようにしました。そして、職員の資質向上の為に勉強会を行う他、研修会へも積極的に参加いたしました。更に、地域社会にあつては、施設の役割を認識し積極的に交流しました。

### 2). 職員の役割

\* 基本理念

① 基本的人権の尊重

② 職務及び利用者に関する守秘義務を果たす。

### 3) 保健衛生

職員は健康管理には十分留意した生活を行いました。

また年1回検診(下記(1)・(2))を行いました。

(1) 内科検診・X線間接・体重・血圧測定・検尿・視力検査・聴力検査

(2) 35歳以上の職員については、(1)の検査に加えて次の検査も行いました。

① 血液検査 ② 心電図 ③ 胃検査

(3) 月1回検便(腸内細菌検査)を実施しました。

亀の子工房(豆腐工房・給食工房の利用者及び職員)

遊亀館(配食サービス・天然酵母 pole pole の従業員及び職員)

たから保育園職員

### 4) 勤務

全職員が「就業規則」及び「労働基準法」を遵守して勤務しました。

## (7)非常災害対策

「亀の子消防計画」、「自衛消防組織」及び「緊急連絡網」の周知、徹底を全職員に図ります。また、災害の防止及び備えについて知識の普及と平常の訓練の充実を図りました。

### 1) 予防と知識の普及

各室に火気取り締まり責任者をおき、点検を行うとともに、月1回の自主点検及び年1回の職員と利用者に消火器取り扱い訓練を行いました。

### 2) 避難訓練

① 内容 : 総合訓練や避難訓練を行い、迅速な避難誘導の習慣化を図りました。

② 開催日 : (総合訓練) 9月13日(大田市消防本部職員立会)  
(避難訓練) 3月14日

(夜間避難訓練) 3月14日(タートルホーム・コーポ亀の子Ⅲ)

(水害避難訓練) 3月6日

### 3) 事故防止

メンバーの安全を第一に考え、施設内において事故が起きそうな場所は、速やかに改善を行いました。

## 6. 社会貢献活動

社会貢献活動として、地域の下記の活動に参加を行いました。

内 容	実施日又は 参加回数	人数
天領さん	8.7	44
ぴよんぴよん教室	2回	延べ 2
めだか教室	3回	延べ 3